

平成25年度の事業報告書

法人設立の日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 まちづくりスポット

1 事業実施の方針

【交流スペースの利用促進に係わる事業】

交流スペースの周知を図るために地域の市民活動団体と協力して、イベントを開催するなど自主企画を行った。さらに様々な市民活動団体に対して交流スペースの利用を呼びかけ、それぞれの活動が多くの市民の目に触れ、参加しやすくなる機会をつくった。

◇評価・課題：若者から高齢者まで多世代多業種の交流スペース利用者が増え、新しい町の活動発表の場になりつつある。しかし、女性による利用が多く男性の利用を促す事が課題である。

【まちづくりの推進に係わる事業】

①当法人が高齢者を対象に買い物送迎支援を行い、実行委員会を結成。100名弱の参加者からヒアリング調査をし、その結果継続実施の声を受けボランティア団体が組成された。現在は当法人が運営支援を行っている。

◇評価・課題：食糧品等、生命に関わる品の不足で困っている人はいない事が確認できた。しかし買い物そのものが、高齢者を元気にする効果があることが分かった。この発見に基づいて、新しい活動をどのように継続するか共に考える必要がでてきた。

②若者の声が政策に反映されていないとの行政の悩みを知り、若者の声をまちづくりに反映するために、ワールドカフェの手法を用いて意見を引き出した。それをまとめ、新たなネットワーク形成の種を作り、若者のまちづくりへの参加を促した。

◇評価・課題：年齢制限をしたこと、ワールドカフェの手法を用いた事で、普段聞けない若者の意見を引き出す事が出来た。今後、20・30代から上の世代へ広げていく事が課題である。

【ネットワーク事業】

アレルギーの問題に取り組む母親グループと、地元密着スーパーのマッチングを行った。このことで、アレルギーMAP作成とアレルギー商品の導入が実施された。

◇評価・課題：これに伴う視察や、高山市移住体感ツアーのカリキュラムに組まれるなど、地域への広がりを見せた。しかし、企業との連携が一部に留まっているので、新しい企業との関係を生み出していく事が課題である。

【人材育成及び研修に係わる事業】

交流スペースで運営の相談や、NPO法人化のアドバイスを行った。市民活動団体の合意形成を図るワークショップや、講座等を行うなどNPOの運営支援を行った。また、大手企業と地域のNPOのコーディネートをし、地域課題を解決するNPOとコミュニティースペースを組成する支援を行った。

◇評価・課題：異なる考え方を持つ人々や、企業と地域のNPOが共通課題を見出す事で短時間で協働を形成した。また、まちスポを通じインターンや視察を受け入れる事で住民と企業が市民活動に参加しやすくなった。今後は、それぞれの地域で住民と共に場所の運営を担う人材育成が必要である。

【広報活動に係わる事業】

チラシ作成やホームページ、ソーシャルネットワークサービスなど各種媒体を利用し、イベントや活動の報告などを行った。3日に1回FBを配信、新聞等への掲載82件、偶数月に会報を発行した。また外部からの依頼に対して、積極的に応え広報活動を行った。

◇評価・課題：メディアへの掲載により信頼度がアップした。広報から支援者拡大へ繋げる事が課題である。

【その他本法人の目的を達成するために必要な事業】

本法人のスタッフ研修・講座を行い能力の強化を図った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(概算) (単位:千円)
① 交流スペースの利用促進に係る事業	地域の市民活動を行う市民や NPO 法人の交流スペース利用促進事業 【自主企画】 まちスポスタッフが中心となり、市民向け講座等を行った。NPO 法人、市民活動団体等と協働イベントを行った。	(A)年 7 回 (B)交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C)4 人	(D)一般市民 (E)1,342 人	84
	【利用団体】 地域の市民活動をしている人や NPO 法人のスタッフに交流スペースの提供を行った。	(A)通年 (B)交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C)4 人	(D)交流スペース利用者 (E)30 団体	158
② まちづくりの推進に係る事業	条件不利地域への支援事業 高齢者を対象とした買い物送迎支援を行った。	(A)年 9 回 (B)条件不利地域、フレス po 飛騨高山、商店街 (C)4 人	(D)高齢者、買い物ツアーミーティング委員会、ボランティア団体 (E)216 人(高齢者 163 人、ボ 53 人)	63
	若者を対象としたまちづくりの促進を図る事業 飛騨地域における若者の意見を抽出し交流の場を提供了。	(A)年 3 回 (B)森下町ふれあい会館 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C)4 人	(D)飛騨地域 在住の 20 ~30 代の若者 (E)53 人	96
③ ネットワーク事業	企業とボランティアグループのマッチングを行った。	(A)通年 (B)交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C)2 人	(D)地元企業、ボランティアグループ (E)2 団体	5

④ 人材育成及び研修に係る事業	NPO の立ち上げ・運営支援事業 市民活動団体や NPO 法人に 対する相談業務を行った。	(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 5 人	(D) 一般市民 (F) 70 名 (52 件)	710
	大手企業と地域の NPO が 協働し、地域課題を解決す る NPO とコミュニティス ペースを組成する支援を行 った。	(A) 通年 (B) 全国 (C) 5 人	(D) 大手企 業、NPO 団体 (E) 多数	885
	日本に留学している学生を 対象にインターンを受け入 れた。	(A) H25/8~9 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 5 人	(D) 日本に留 学してい る大学生 (E) 2 人	62
	外部講師を招き地域のボ ランティア団体、企業向け に広報力強化のための講 演会を開催した。	(A) H26/3 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 6 人	(D) 地元企 業、ボラ ンティア 団体 (E) 120 名	10
	地方自治体や行政、NPO な どからの視察の受け入れ を行った。	(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 6 人	(D) 行政、地 方自治体、 県議会議 員、企業 (E) 7 団体	67
⑤ 広報活動に係る 事業	チラシやポスター、ホーム ページや SNS など各種媒 体を利用し、イベントや活 動の報告などを行った。	(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 4 人	(D) 一般市 民、会員 (F) 多数	118
	会報を発行し、活動の周知 を行った。	(A) 年 6 回 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 5 人	(D) 一般市 民、会員 (F) 多数	34
	外部からの依頼に対し、広 報活動を行った。	(A) H25/10、H26/2 (B) 東京、大阪、 名古屋 (C) 3 人	(D) 企業、団 体 (E) 2 団体	68
⑥ その他、この法 人の目的を達成 するために必要 な①から⑤まで の事業に付帯す る事業	スタッフ研修・講座を行 った。	(A) 通年 (B) 全国 (C) 4 人	(D) スタッフ (E) 4 人	14

特記：第 10 回日本パートナーシップ大賞において、NPO 法人ソムニードと大和リース株式会社
が協働事業「市民活動を応援する場と組織づくり事業」の優秀賞を受賞した。プレゼン準備に
NPO 法人まちづくりスポットが全面的に協力した。

3 その他

平成25年度 各種委員会及び会議等への派遣

○田邊 友也 高山市政策検討市民委員会 委員
N P O 法人ぎふN P Oセンター 正会員